



第13号

(2010年) 平成22年7月

発行・編集／改革・緑新
 長野県庁県議会棟内 (026) 232-0087
 発行責任者 倉田 竜彦 印刷所 中外印刷KK
<http://www.kaikaku-ryokushin.com>

村井県政最後の定例県議会

4年間の成果や今後の課題を問う

6月17日開会した定例県議会は、7月2日、約27億円の一般会計補正予算案など14議案を可決・同意し、閉会しました。今議会は、勇退を表明した村井知事にとって最後の議会であり、一般質問では4年間の総括や今後の課題についてなど、知事の考え方を質しました。

4年間の成果と今後の課題

【小島議員】

4年間の成果を県民にどう評価されていると認識しているか。

【村井知事】様々な課題について県として精一杯取り組んできたつもりである。厳しい経済状況の下でその成果を実感していただくのは難しい面もあるが、県民世論調査では半数を超える支持をいただいております。一定の評価はいただけたと受け止めています。

【小島議員】

今後の県政運営の課題、県民に訴えておきたいことは何か。

【村井知事】口蹄疫への対応、県立短大のあり方、地域公共交通の問題など様々な課題がある。これらにしっかりと対応していくのが「行政」と考える。県政がパフォーマンスや見せかけの議論に陥るのではなく、空気や水のように「当たり前」のサービスがきちんと提供されることが大事である。県民の皆様には、今後ともそういう視点から冷静に県政を見ていただきたい。

知事の資質

【松山議員】

知事の職務への適性についての考え、これまでの成果をどのような気持ちと言葉で残すのか。

【村井知事】知事就任以来、誰が知事であったとしても、こう判断するのではないかとこの視点で取り組んできた。その中で、職員に委ねるべきことは委ね、最終責任は自らが負うことを組織運営のポイントとすること。権力というものを極めて



寺島議長のもと最後の答弁をする村井知事

抑制的に行使するよう努めること。将来に向けて必要と思うことは信念を持って取り組むこと。主義・主張や価値観の違う方々の声にも謙虚に耳を傾けること。以上を心がけてきた。

信州まつもと空港について

【下沢議員】信州まつもと空港の将来に期待することは何か。

【村井知事】長野県唯一の空の玄関口を閉じさせてはならないとの強い思いで取り組んできた。県

職員と新たな利用状況について懇談しましたが、説明されたことは、私たちの体験と同様なものでした。札幌線は季節的要因もあり利用率が良く、福岡線は目標利用率65%達成が厳しいこと。要因として東信地域からの利便性が悪いこと、1機だけの運行のため福岡線のダイヤが使いづらいこと、F D A 松本線を九州の人が知らないこと等があげられました。



▲色鮮やかな F D A の機体

▲帰路の車窓からは富士山が

日航が信州まつもと空港3路線から5月末で撤退し、6月1日よりフジドリームエアラインズ(F D A)が、

松本⇄札幌、松本⇄福岡の2路線を、小型ジェット機での毎日就航で引き継ぎました。わが会派では早速 F D A

を利便して、福岡県に赴き、「森林づくり県民税」の状況および住宅供給公社の取組み等視察しました。

午前9時35分松本発、同11時5分札幌着の折り返し便が、午後1時5分松本空港に戻って来ました。乗客はほぼ満席の80人程。続いて午後1時35分発、同3時5分福岡着予定の同機へ搭乗。乗客は40人程度で、ゆったりではあるが利用率が心配。帰途も F D A を利用。福岡から松本へは午前7時40分発の一日1便。松本空港到着後、空港

抑制的に行使するよう努めること。将来に向けて必要と思うことは信念を持って取り組むこと。主義・主張や価値観の違う方々の声にも謙虚に耳を傾けること。以上を心がけてきた。

【村井知事】知事就任以来、誰が知事であったとしても、こう判断するのではないかとこの視点で取り組んできた。その中で、職員に委ねるべきことは委ね、最終責任は自らが負うことを組織運営のポイントとすること。権力というものを極めて

民の皆様には、今後ともそういう視点から冷静に県政を見ていただきたい。

【村井知事】知事就任以来、誰が知事であったとしても、こう判断するのではないかとこの視点で取り組んできた。その中で、職員に委ねるべきことは委ね、最終責任は自らが負うことを組織運営のポイントとすること。権力というものを極めて

【村井知事】知事就任以来、誰が知事であったとしても、こう判断するのではないかとこの視点で取り組んできた。その中で、職員に委ねるべきことは委ね、最終責任は自らが負うことを組織運営のポイントとすること。権力というものを極めて

【村井知事】知事就任以来、誰が知事であったとしても、こう判断するのではないかとこの視点で取り組んできた。その中で、職員に委ねるべきことは委ね、最終責任は自らが負うことを組織運営のポイントとすること。権力というものを極めて

【村井知事】知事就任以来、誰が知事であったとしても、こう判断するのではないかとこの視点で取り組んできた。その中で、職員に委ねるべきことは委ね、最終責任は自らが負うことを組織運営のポイントとすること。権力というものを極めて

【村井知事】知事就任以来、誰が知事であったとしても、こう判断するのではないかとこの視点で取り組んできた。その中で、職員に委ねるべきことは委ね、最終責任は自らが負うことを組織運営のポイントとすること。権力というものを極めて

【村井知事】知事就任以来、誰が知事であったとしても、こう判断するのではないかとこの視点で取り組んできた。その中で、職員に委ねるべきことは委ね、最終責任は自らが負うことを組織運営のポイントとすること。権力というものを極めて

【村井知事】知事就任以来、誰が知事であったとしても、こう判断するのではないかとこの視点で取り組んできた。その中で、職員に委ねるべきことは委ね、最終責任は自らが負うことを組織運営のポイントとすること。権力というものを極めて

F D A を利用して 福岡県視察へ

福岡県視察へ

福岡県視察へ

福岡県視察へ

福岡県視察へ

福岡県視察へ

福岡県視察へ

福岡県視察へ

生物多様性の確保の取組

【下沢議員】生物多様性の確保への今後の取り組みはどうか。

【村井知事】4月の「環境審議会」に「生物多様性長野県戦略(仮称)」の策定について諮問した。今後の県の取組のよりどころとなるものとして、私たちが体験と同様なものでした。

【村井知事】4月の「環境審議会」に「生物多様性長野県戦略(仮称)」の策定について諮問した。今後の県の取組のよりどころとなるものとして、私たちが体験と同様なものでした。

企業の海外展開について

【下沢議員】補正予算で「アジア圏市場スタートアップ支援事業」が計上されたが、今後の企業の海外展開に向けての考えは?

【村井知事】長野県の企業がその特色である「高度で信頼性のある技術力」を活かしながら、アジアの市場でビジネスを展開することが、県内のものづくり産業の飛躍につながるものと考えている。

【村井知事】長野県の企業がその特色である「高度で信頼性のある技術力」を活かしながら、アジアの市場でビジネスを展開することが、県内のものづくり産業の飛躍につながるものと考えている。

地域公共交通の活性化を 求める意見書などを可決

6月議会では、「地域の公共交通の活性化・再生」を求める意見書並びに「並行在来線の支援及び新たな仕組みを求める意見書」など9件の意見書の提出を可決しました。その内、特に「地域公共交通活性化・再生事業」においては、昨年、政府の行政刷新会議による事業仕分けで、「各自治体の判断に任せる」と評価された経緯があり、大幅に予算額が削られています。しかし、この事業は多く

の地域の実状にあった交通システムの構築に向けた取り組みが実施されていく、予算削減の影響は多大であるため、必要な予算を速やかに確保するように強く要請したものです。

の地域の実状にあった交通システムの構築に向けた取り組みが実施されていく、予算削減の影響は多大であるため、必要な予算を速やかに確保するように強く要請したものです。

歯科保健推進条例 案要綱にご意見を

県議会の「歯科保健推進条例(仮称)制定検討調査会」では、この度「歯科保健推進条例案要綱」をとりまとめました。県議会のホームページ等でその内容をお知らせし、広く県民の皆様からのご意見を募集しています。(8月3日まで)

県議会の「歯科保健推進条例(仮称)制定検討調査会」では、この度「歯科保健推進条例案要綱」をとりまとめました。県議会のホームページ等でその内容をお知らせし、広く県民の皆様からのご意見を募集しています。(8月3日まで)

県議会の「歯科保健推進条例(仮称)制定検討調査会」では、この度「歯科保健推進条例案要綱」をとりまとめました。県議会のホームページ等でその内容をお知らせし、広く県民の皆様からのご意見を募集しています。(8月3日まで)

高島県議が辞職 会派は9人に

高島陽子議員は参議院選挙に立候補するため、5月11日議員辞職しました。わが会派のメンバーは9人となりました。

これを受け、環境商工観光副委員長に小島康晴議員が、県議会広報副委員長に下沢順一郎議員がそれぞれ選任されました。

これを受け、環境商工観光副委員長に小島康晴議員が、県議会広報副委員長に下沢順一郎議員がそれぞれ選任されました。



大切な住民の足を守る

小島康晴の 県政レポート

VOL 13

飯田市高羽町3-1-7 TEL・FAX(0265)23-5388



村井知事へ13回目の一般質問

6月県議会

村井知事へ最後の「一般質問」 お練りまじりの感想や菅政権への評価を問う

一般質問

県政報告第13号をお届けします。今議会は勇退される村井知事にとって最後の議会となりました。私は光栄にも会派の一番手として、この4年間の総括や今後の課題についてなど、村井知事への最後の一般質問を行いました。

伝統行事等への支援について

【小島議員】初めて「飯田お練りまつり」をご覧になっての感想や今後のアドバイスは？

【村井知事】大変多くの人が出で賑わう中、飯田の市街地を練り歩く、絢爛豪華な大名行列や東野大獅子の舞に本当に私も感嘆の皆さんの熱い思いに非常に感動を持って拝見した。地元の方々からは、「これだけ県からサポートしてもらったことはなかった」といわれたが、県内外への積極的な情報発信に取り組んだ。次回に向けて、こういった経験を組織としてきちんとつないでいくことが大事である。

小島議員 伝統行事等の継承が困難になっており、地域で努力をして何とか維持しているが、必要により行政の一定の支援も必要ではないか。

【総務部長】21年度の状況は、要望は1,033件でその金額は16億621万1千円であり、採択されたのは777件、9億9,802万7千円であった。金額ベースで比較すると、1.6倍になる。今年度の1次募集での状況は、要望が953件で、金額が16億302万7千円であり、採択されたのは680件で9億2,080万円であり、金額ベースで1.7倍となる。

観光部長 県では現在、元気づくり支援金を活用して地域の伝統行事に対する支援を行っている。また、文化振興、地域活性化の国の制度などの活用も考えられる。観光振興の面では、経済効果を高めるという観点から、事前の情報発信や県内周遊のルートづくりに対して、地域の皆さんと知恵を出し合い、今後とも積極的に取り組んでまいりたい。

【小島議員】年度途中でも対象となるよう弾力的に対応すべきではないか？

【総務部長】一連の手順を踏んで、半年近い期間をかけて行っており、地域において、十分な時間をかけて、そして計画的に準備を進めて、事業効果を高めていくという制度の趣旨をご理解いただきたい。

【小島議員】各圏域への配分について見直す考えはあるか？

【総務部長】現時点では配分方法を変更するという予定はないが、住民参加型の地域づくりが一層活性化するように、引き続き、県民のご意見やニーズを把握し、より活用しやすい制度となるように努めてまいりたい。

【小島議員】使いやすいくで要望も多い。大幅に増額すべきではないか？

【総務部長】今後それぞれ



大獅子を観覧する村井知事

環境商工観光委員会の副委員長に就任

意見書提案や現地調査を実施

今議会から「環境商工観光委員会」の副委員長を務めることになりました。早速、山小屋のトイレ等の整備を進めるため、「山岳環境等浄化・安全対策緊急事業費補助の継続を求める意見書案」を提案しました。この件では、後日東京陳情も行う予定です。当委員会では、5月下旬に東北信地域の現地調査を行い、佐久市の川村吾蔵記念館、函館五稜郭と並ぶ龍岡城址、佐久リサーチパーク内のスペースエナジー社、小諸懐古園と駅前の整備、「雷電くる



副委員長席から説明を聞く



副委員長として意見書提案



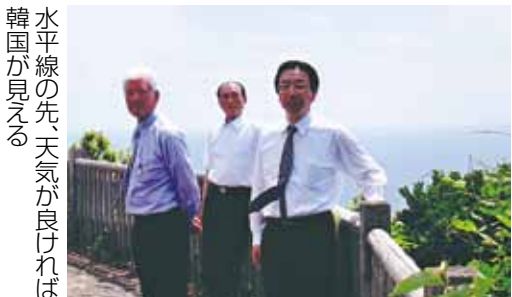
小諸駅前活性化の現場から

策特別委員会」では、1面記載の「地域公共交通の活性化・再生のため必要な予算確保を求める意見書案」の提案を行いました。これら委員会活動にも積極的に取り組んで参ります。

初めて「国境の島」対馬へ

今にも対馬が外国に買い占められるかのような一部報道もあり、会派として実情の調査に行きました。市役所の方のお話しによると、土地のうち、外国の方の所有は0.01%もなく、また、外国人登録されている韓国の方はわずか60人とのことです。一部報道の根拠のない情報に翻弄され困惑されているようでした。直線わずか50km足らずのお隣の国との友好を大切にしたいものだと思います。

また、本県の稀少動植物保護の取り組みの参考とするため、「ツシヤママネコ」をはじめとする対馬の野生動植物の保護活動の拠点である「対馬野生生物保護センター」を視察しました。



水平線の先、天気が良ければ韓国が見える

元気づくり支援金の拡充について

【小島議員】建設に向けて、国からの財政的支援を県からも強く求めるようお願いしたいが、現状をどのように把握し、今後どのように県として取り組まれるか。

【健康福祉部長】「準備会」の皆さんの熱い思いに敬意を表す。満蒙開拓は、国の政策として積極的に推し進められたものであり、まず国が関与をしていくべきと考える。県としては、準備会が国

【小島議員】建設に向けて、国からの財政的支援を県からも強く求めるようお願いしたいが、現状をどのように把握し、今後どのように県として取り組まれるか。

【小島議員】新たに発足した菅内閣をどう評価し、今後何を期待するか。

【村井知事】政権発足2週間、その評価や県政への影響を判断するような段階にはないが、菅政権には、国民の政治に対する信頼を回復するために、鳩山政権の反省を十分踏まえて、直面する政策課題に対して、現実的で具体的な取組を着実に進めてほしい。地方の実情にも十分理解をいただき、

【健康福祉部長】「準備会」の皆さんの熱い思いに敬意を表す。満蒙開拓は、国の政策として積極的に推し進められたものであり、まず国が関与をしていくべきと考える。県としては、準備会が国

【小島議員】建設に向けて、国からの財政的支援を県からも強く求めるようお願いしたいが、現状をどのように把握し、今後どのように県として取り組まれるか。

【小島議員】建設に向けて、国からの財政的支援を県からも強く求めるようお願いしたいが、現状をどのように把握し、今後どのように県として取り組まれるか。

みなさまのご提言やご要望をお寄せ下さい。

長野県議会 改革・緑新

〒380-8570 長野市南長野字幅下692-2
 電話(026)232-0087 FAX(026)231-5592
 HP://www.kaikaku-ryokushin.com
 E-mail:kaikaku-ryokushin@grace.ocn.ne.jp

*なお、村井県政4年間の総括については、1面をご覧ください。